

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3972400489
法人名	医療法人 岡本会
事業所名	グループホーム 柳瀬
訪問調査日	平成20年11月6日
評価確定日	平成20年12月26日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3972400489		
法人名	医療法人 岡本会		
事業所名	グループホーム 柳瀬		
所在地 (電話番号)	吾川郡いの町柳瀬本村892 (電話) 088-897-0300		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年11月6日	評価確定日	平成20年12月26日

【情報提供票より】(平成20年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年6月20日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	20 人	常勤15(内兼務2)人、非常勤5人、常勤換算15人	

(2) 建物概要

建物形態	(併設) 単独	新築 (改築)
建物構造	鉄骨造り	
	5 階建ての	2 階 ~ 3 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000~27,000 円	その他の経費(月額)	10,800 円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,000 円	

(4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	3 名	要介護2	3 名		
要介護3	6 名	要介護4	4 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 87 歳	最低	80 歳	最高	103 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	さくら病院 森木病院 森沢クリニック みやべ歯科 片岡歯科	2
---------	-------------------------------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

5階建ての病院を改築し、開設3年目を迎える事業所は、病院の広いスペースを活用しており、居室や共用空間にゆとりが感じられる。職員の異動がなく、利用者は馴染みの関係と信頼関係に支えられ、趣味の活動等に意欲的に取り組んでいる。母体病院との連携も良く取れており、職員は安心して利用者のケアに専念している。そのためか、職員の態度は謙虚で優しく、地域住民との連携も良く取れている事業所である。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	① 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回の評価で見出された「地域密着型理念の作成」、「評価の意義の理解と活用」、「同業者との交流」など主な課題は既に改善されているが、「評価の意義の理解と活用」など積み残された課題もあり、早急に改善されることが望まれる。
	② 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価の意義を職員は理解しており、運営者、管理者、職員が積極的に意見を出し合い、自己評価に取り組んでいる。
重点項目	③ 運営推進会議の主な検討内容及びそれを活かしたとりくみ(関連項目外部4 5 6) 運営推進会議は2カ月に1回開催し、事業所から利用者の状況やサービスの状況などを報告し、参加メンバーからサービスへの要望や助言などが出され、双方向的な会議になっている。今後は、評価で明らかになった課題について会議で報告し、その中で出された意見等も踏まえて改善に向けて取り組むことを期待したい。
重点項目	④ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族会が組織されていないので、家族の意見、苦情、不安などは、家族来訪時に個別に聞き、また、玄関に設置している意見箱に投函してもらうなどして把握するようにしている。事業所は家族の意見や苦情を宝物と捉えて謙虚に受け止めようとしているが、今のところ苦情等はほとんど無く、家族から表される感謝の気持ちが全職員の励みとなっている。ただ、家族はお世話になっているという気持ちから、率直な意見等を言い難い状況も生まれるので、家族等が意見、苦情等を職員はもちろん外部者にも安心して表せる機会を積極的に作っていくことを期待したい。
重点項目	⑤ 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地元出身の利用者が多く、地域住民との交流が盛んで、畑を貸してもらったり、沢山の野菜や柿をもらったり、それを干し大根やつるし柿にするなど、一緒に生活を楽しみ連携を図っている。また、支援を受けるばかりでなく、全員参加をモットーに車いすの人もゴミ拾いに参加するなど、積極的に地域との関わりを持つように努めている。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 職員全員で話し合い、「地域の中で生活することを目標とし、地域との積極的な交流を図ります。」という、独自の理念を作っている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 見やすいところに掲示し、朝礼で唱和し、話し合い、全員が自分のものにするように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 職員は毎朝利用者の体調や状態をよく観察し、話も聞き、常に楽しく生活できるように心がけて支援している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 地元出身の利用者が多く地域住民との交流が盛んで、畑を貸してもらったり、沢山の野菜や柿をもらったり、また、車いすの人も地域のゴミ拾いに参加するなど、積極的に地域との関わりを持つように努めている。		
3. 理念を実践するための理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い全員で自己評価に取り組んでいる。 自己評価の意義を職員は理解しており、運営者、管理者、職員が積極的に意見を出し合い、自己評価に取り組んでいる。理事長にも報告している。 <input type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 前回の評価で見出された課題について、改善計画が立てられていない。	○	改善計画を作成して取り組むことで、進捗状況や新たな問題点などが明らかとなり、職員も実施目標として進めやすくなるので、改善計画を立て、取り組むことを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。</p> <p>運営推進会議は2カ月に1回開催し、事業所から利用者の状況やサービスの状況などを報告し、参加メンバーからサービスへの要望や助言などが出され、双方向的な会議になっている。</p> <p><input type="checkbox"/>評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p> <p>評価で明らかになった課題について、会議で報告していない。</p>	○	<p>評価で明らかになった課題について運営推進会議の議題とすることにより、メンバーからの助言や意見を取り入れ、取り組み状況も確認し、サービスの質の向上に役立てることが望まれる。</p>
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。</p> <p>町が企画する芸能大会に誘われ見に行ったり、地元の小中学生の訪問や中学生のボランティアの掃除を受け入れるなど、町の社会福祉課、すこやかセンター、包括センターなどと連携を取って実施している。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。</p> <p>家族の来訪時に積極的に声をかけ、近況等を話すようにしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。</p> <p>毎月「柳瀬通信」を郵送しており、行事の案内、行事の時の写真、手書きのエピソードなども同封している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。</p> <p>金銭管理は2人で行い、家族の来訪時に報告し、確認のサインももらっている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 家族会がなく、家族同士が話し合う場や意見を出せる場がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 玄関に意見箱を設置し、面会時に意見を聞くようにしている。苦情はほとんど出ないが、意見等があった場合、職員全員で話し合い、今後のサービスの向上に役立っている。	○	家族等の意見や苦情はグループホームのサービスの質を向上させる良いきっかけとなるものであるが、家族はお世話になっているという気持ちから、率直な意見等を言い難い状況も生まれるので、家族等が意見、苦情等を職員はもちろん外部者にも安心して表せる機会を積極的に作っていくことを期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 開設以来職員の異動はなく、馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 開設3年を経て職員の異動がなく引き継ぎも行われていないが、新しい職員への指導や異動時の引き継ぎには2週間を当てるようにしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 母体病院の学習会やグループホーム連絡会の研修会に公務扱いで参加している。職員全員が参加できる環境にある。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 2カ月に1回の合同会議で研修内容を報告して共有している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 県内グループホーム連絡会へ加入している。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 数カ所のグループホームとの交流があり、また、四国大会で研究発表をしたり、くろしお病院の研修に年2回参加するなど、サービスの質の向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族との意向も確認している。</p> <p>入居前に家族と面接を行い、また、病院から直接入居する利用者については病院からも情報を得るなど、本人と家族のニーズの把握や意向の確認を行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>本人が来所することは少ないが、希望すれば食事を共にするなど体験の場を設けている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>施設長と各ユニットの管理者で面接を行っている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>日常生活を一緒に過ごす中で、生活習慣や作法を教わり、できることは手伝ってもらうなど、協働して生活をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>毎日行っている体操やおやつの時間に、ゆっくり話しをして可能な限り寄り添って過ごし、体調や感情の起伏にも心配りをし、部屋でゆっくり話を聞いたり手を握ったりというスキンシップも大切にするなど、利用者の思いを理解しようとしている。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>利用者の生活歴や家族からの話のもとより、毎日生活する中で気づいたことを基にして、一人ひとりの思いや希望を把握するように努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>家族からの情報だけでなく、生活を一緒にしていく中で、その人のくせや表情から気持ちを汲み取り、情報を得るようにしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 本人や家族の意向を聞き、スタッフでミーティングを行い、介護計画を立てている。 <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 1カ月毎にモニタリング、毎日の申し送り時にショート・カンファレンスを全職員で行っている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 3カ月毎に見直している。 <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 変化に応じて話し合い、その都度対応して修正し、現状に即した個別の期間設定をしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。 協力医療機関である「さくら病院」の看護師による24時間連絡体制により、脳梗塞の発症を早期発見して対応した例もあり、医療処置を受けながら生活が継続できるように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。 家族の状況に応じて定期あるいは臨時の通院や送迎等の支援を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。</p> <p>主治医には月に2～3回診察を受け、また、その他必要になった時にも家族に連絡をして、受診の支援を行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診結果に関する情報の共有ができています。</p> <p>家族には受診結果を電話で報告し、職員間でも申し送りで情報を共有している。</p>		
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>看取りに関する指針を定めており、終末期を迎えた時の意向を家族から聞き同意を取るとともに、主治医を交えて話し合いを行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。</p> <p>終末期が近くなると病院で最期を迎えることが多く、今までに看取りの実績はないが、協力医療機関との連携が取れており対応は可能である。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。</p> <p>排泄時のケアなど、職員の言葉遣いや態度にはやさしい心配りが見受けられる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。</p> <p>カルテなど個人情報に関するものは鍵付きの部屋で保管し、漏れないように徹底し、利用者のプライバシーについて口外しないこともミーティング等で徹底している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。</p> <p>利用者のプライバシー保護について、職員会議やミーティングなどで確認し、個人情報保護法の研修も行き、徹底している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。 本人の希望や体調を考慮して、できるだけ希望に沿った支援をするように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 食事の時間、入浴時間など、一人ひとりに合ったペースを大切にして、その人らしい暮らしを支えている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 季節の食材を使ったメニューを聞いたり、能力に合った食事の準備や後片付けをしてもらうなど、利用者の意志や気持ちを大切に一緒に進めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助のみに止まらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 職員は嚥下障害や麻痺のある人など食事介助が必要な世話をしながら、利用者と同じものを一緒に食べ、笑い声も聞こえる楽しい食事をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 夜間入浴には対応していないが、季節により菖蒲湯や柚湯などを行い、毎日本人の希望する時間にゆっくりと入浴できるように支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 入浴を拒否する人には無理強いすることなく、時間を空け、職員を変えて誘うなど、焦らず対応し支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 硬筆、折り紙、洗濯物たたみ、食事の後片付け、野菜作りなど、その人の楽しみや、その人の能力を発揮できる場面を作っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 車いすの人がゴミ拾いに参加したり、草履を作る技術を持った人に作り方を教えてもらうなど、役割や楽しみごとを作り出す働きかけをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 近くの散歩だけでなく、買い物に行ったり、隣接する道の駅にうどんを食べに行くなど、外出支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 歩行困難な人も車いすで毎日散歩に出かけ、母の日・父の日など弁当を作って全員が河原や中庭で食事を楽しんでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 近くの道の駅、スーパー、喫茶店などへ日常的に出かける支援を行っている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 一人ひとりの外出傾向は把握しており、見守りながら支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 近所の住民、道の駅の職員など、見守り、声をかけてもらえる関係を築いている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 年2回定期的に、地域の防火クラブ、婦人部、消防署の協力を得て、避難訓練を実施している。また、事業所を近所の避難場所として活用してもらっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 避難路の確保、消化器等の点検も行い、非常用食料等も倉庫に整理して備蓄している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。</p> <p>食事、水分、体重を各チェック表で管理し、水分の摂取量の少ない人には牛乳やジュースで対応するなど工夫している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。</p> <p>本人の嗜好や摂取量に合わせて栄養バランスに配慮し、食材の形や調理方法も工夫して献立を作っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p> <p>母体法人が運営する病院の栄養士に月1～2回チェックをしてもらっている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>玄関には靴を脱着しやすいように椅子を置き、広い居間には自由に利用できるようにソファや椅子を配置し、使いやすい共用空間になっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。</p> <p>共同で作った作品を飾り、和やかな雰囲気を作っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>布で作ったパッチワークのリース、カラフルな和紙で作った季節の花や栗の飾り物などを飾り、季節感や五感の刺激に配慮している。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>馴染みの家具や衣類を持ち込み、好みに応じて生花や写真などを飾り、日頃の手作り作品も加え、個別に工夫した雰囲気づくりに取り組んでいる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られないなどの場合でも、本人の意向を確認しながらその人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p>		